

## 消防署からのお知らせ

### 9月9日は救急の日

9月9日は「救急の日」です。1982年（昭和57年）に救急業務及び救急医療に対する正しい理解と認識を深めていただくとともに、救急医療関係者の気持ちを高めることを目的に定められました。

#### ☆救急車の適正利用にご協力ください☆



- ・救急車は限りある医療資源です  
全国的に救急件数は増加し、須賀川地方広域消防組合管内でも年々件数が増加しています。
- ・命を救うために  
軽い症状でも救急車を利用する人が増え社会問題になっています。これは、事故による大ケガや心筋梗塞、脳卒中など緊急性の高い人への救急車の遅れにつながります。  
命に関わる病気やケガで、緊急に病院へ行かなければならない場合は、迷わず119番通報してください。自家用車やタクシーなど一般の交通機関の利用で問題ないと判断できる場合は、救急車を本当に必要とする人のために、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

#### 救命講習会の開催について

新型コロナウイルスの影響により、救命講習会の開催については未定となります。

石川消防署平田分署（☎ 0247-55-2213 FAX 0248-94-2079）<http://www.sukagawa119.jp>

#### **注意!** ご自宅の住宅用火災警報器、電池は大丈夫ですか？

住宅用火災警報器は、設置が義務化されてから10年以上が経過しています！  
電池切れアラームや作動確認異常の際は、本体交換をお勧めします！



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。

適切に機能するためには維持管理が重要です。「いざ」というときに住宅用火災警報器が作動するよう、定期的に作動確認を行い、取り付けから10年を目安に本体交換を行うよう習慣づけましょう。

#### 健康アドバイス

### 公立小野町地方総合病院

当院では、令和2年4月から地域包括ケア病床を開設いたしました。目的は、地域の方々が住み慣れた環境で生活することを支える地域支援病院を目指すためです。

地域包括ケア病床の機能は、大きく4つに分類されます。

- ①急性期治療を終えたが、しばらく経過観察が必要な人
- ②自宅復帰・社会復帰のためにリハビリテーションが必要な人
- ③在宅復帰のために自宅環境の準備が必要な人
- ④事情により自宅での介護ができなくなった人の短期的な受け入れ

このように、入院前から在宅医療を受けている人はもちろんのこと、急な病気で入院治療をした人や、介護者の事情によって自宅での介護が困難になった人などに対応いたします。気兼ねなくご相談ください。

患者サポート室 佐藤 浩二

地域包括ケア病床についての問合せ等は、患者サポート室で受け付けています。月曜日から金曜日の9時～17時まで、電話（☎ 0247-72-3181）にてご連絡ください。

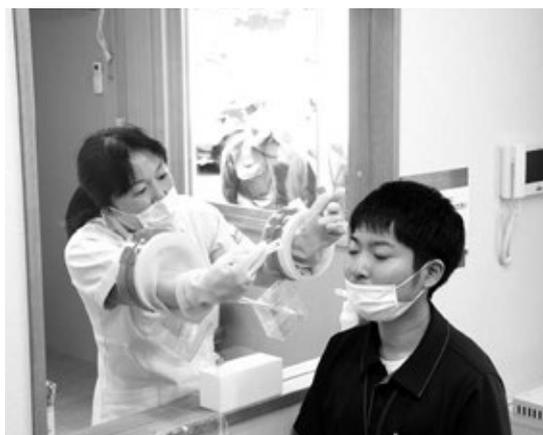
# 新型コロナウイルス感染症と対策

発熱外来センターがひらた中央病院に設置され、7月6日から開設しています。

発熱などの症状がある患者を一般外来と区別して診療できるもので、診療情報提供書（紹介状）と予約が必要です。

感染者は日々増加しており、重症化へのリスクが高い基礎疾患を持っている人や、高齢者への感染には特に注意が必要です。

少しでも疑わしい場合はかかりつけ医や診療所等で受診（電話相談）し、感染拡大を防止しましょう。



ひらた中央病院で開設された発熱外来センター

行動記録表 令和2年8月 (記入例)

日	曜日	体温(℃)	体調	症状	行動経過
1	土	36.3	良好	なし	お昼〇〇さんと△△で食事 夕方××で買い物
2	日	36.5	良好	なし	一日 畑仕事
3	月	36.3	良好	なし	仕事
4	火	36.4	良好	なし	仕事で□□へ出張
5	水	36.8	やや不良	あり	朝からだるい。仕事
6	木	37.1	不良	あり	咳が少し出る。 午後から仕事休む。

カレンダーやスケジュール帳に記入しておく  
とよいでしょう。レシートをとっておくのも一  
つの方法です。また、毎日の検温や、体調に  
ついて何かいつもと変わったところがある場合  
も記入しておきましょう。

## 行動記録を取る

感染経路を把握することは、感染疑いとなっ  
た場合も含めて、地域の集団発生を防ぐため  
にも重要です。

〇いつ、どこへ出かけたか。誰と一緒に行動を  
したか。  
〇体温は一定か。

## 健康アドバイス

### ひらた中央病院



小原 大治 医師

今回も新型コロナウイルスについて説明します。現在、東京を中心に無症  
状の若年感染者が増加している状態です。他者への感染が危惧されており、  
感染した者が高齢者や持病のある人だと、発症や重症化、死亡の危険が高く  
なります。

お盆の帰省時など、平田村でも感染は起こり得ます。これを防ぐためには  
無症状の感染者を特定、村内への流入を阻止する以外に方法がありません。  
特定する方法は現在のところPCR検査を含む抗原検査だけです。村外からの無症状の帰省者全員  
に検査を行うことが出来れば、村内への感染は防ぐことが可能です。

無症状の家族からコロナウイルス感染、生命を落とすことは予防可能なだけに避けなければなり  
ません。当院では平田村を中心に石川5町村民のため、PCR検査を準備しました。費用は14,850円  
税込（都心では25,000円前後）、時間は3時間（都心では翌日）です。随時ご相談ください。

お問い合わせ先：ひらた中央病院 ☎ 55-3333